

関連項目：教育活動プラン①

えま（笑顔・真顔）運動を通して、自分を見つめ、友達のよさを認める

目的

本校は、平成22年4月に3校が統合して開校した。今年度は、旧中央小学校の校舎で生活する最後の年であり、自分たちを支えてくださる、たくさんの方々と心を通わせ、『感謝』をキーワードとした学校経営を推進してきた。その中で、学校の様々な活動の中で子どもが見せる真剣な顔、達成感や満足感による笑顔を見ついたり紹介したりすることを通して、自分を見つめ友だちのよさを認める心の育成を図ってきた。

内容

<学校行事を通して>

● 運動会

テーマ「ありがとうの心でつながろう！～笑顔・真顔の坂出小～」
子どもたちが主体となって生き生きと活動する大変感動的なものとなった。児童からも「心をひとつにして取り組む6年生の活躍を見て自分たちも来年は6年生のようながんばりをみせたい。」(5年生女子)と言った感想を書く子どもが見られた。



● 人権月間

テーマ「えがおいっぱい 友だちいっぱい ～えまことばでつながろう～」

- ・ 自分のごとばを見直し、自分や友達が笑顔になることばを選んで使うように努めることによって、思いやりのある温かな学校をつくることをねらった。

えまことばとは・・・

- ・ 自分や友達が笑顔になることば（おはよう、ありがとう、うれしいよ）
- ・ 自分や友だちの真顔を紹介したりほめたりすることば、勇気をもって言えたことば（いいね、がんばったね、がんばったよ、すごい、やめて）

- ・ 「えまの木」を作成し、友達のよいところを発見してことばをかけた、友達にことばをかけてもらったりして、自分や友達のよさに気づき、ともに伸びていこうとする心情を育てた。



● えまフェスタ

テーマ「笑顔と真顔で感謝の心を伝えよう

～校舎に、家族に、地域の人々に～
生活科や総合的な学習の時間に行った、地域と連携し、地域から学んだことを大切にしたい取組を各学年が発表した。現在の校舎とのお別れに強い寂しさを感じながら、育んできた『感謝』の心を家族や地域の方に精一杯伝えることができた。



<実践の日常化>

● ハートウィーク

毎月第3週目を「ハートウィーク」と名付け、集中的に心を耕す週とし、学校・家庭・地域が支えていくことで心豊かに力強く生きていく子どもたちを育てる。また、その週の土・日曜日に「いい日実行日」を設け、特に意識したボランティア活動等の取組を促している。日々の日記の中にもがんばっている様子や保護者からの感謝のごとばが綴られている。

● ありがとう清掃

毎週水曜日の早朝、児童会の呼びかけで自主清掃「ありがとう清掃」を行っている。校舎移転のため最終年となるということもあり、今では、全校生の40%近くの児童が参加するようになった。

成果

笑顔・真顔のあふれる学校をめざし、本校が開校して2年。子どもたちにもこの意識が高まり、どんな行事の際にもそのテーマを考えた時、「えま」ということばが入るようになった。行事から日常生活へという動きも子どもたちの中に自然と生まれ、ハートウィークにおける「ありがとう清掃」や、「いい日実行日」にも広がりを見せた。